

胸部疾患に対する外科的介入が及ぼす有用性の後方視的検討について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

本研究は既存情報である当院呼吸器外科で治療を受けた患者の診療録より、その臨床経過を後方視的に検討することによって胸部疾患に対する外科的介入の有用性を明らかにすることを目的とします。

【対象】

2009年4月より2024年3月まで関西労災病院呼吸器外科で保険適応治療歴のある患者さん

【情報の利用目的及び利用方法】

対象患者の臨床データを後方視的に収集し、個人情報秘匿してデータベース化し、統計処理を行うことで、保険診療下での市中病院における一般臨床として施行された胸部疾患に対する外科治療の実態とその成績を明らかにします。

【調査項目】

性、年齢、身長、体重、BMI、各種検査結果、血液生化学検査、呼吸機能検査、手術時間、出血量、体位、手術創の部位及び長さ、補助術式、入院期間、ドレーン留置期間、投薬の種類、期間および効果、病理診断結果、術後臨床経過

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【調査対象期間】

2009年4月1日～2024年3月31日

【利用する者の範囲】

岩田 隆、戸田道仁、伊藤龍一

【試料・情報の管理について責任を有する者】

関西労災病院 呼吸器外科 伊藤龍一

【研究期間】

実施許可日から2028年3月31日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【研究事務局】【当院の研究責任者】

関西労災病院 呼吸器外科

伊藤龍一

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘3-1-69

TEL: 06-6416-1221（代表）

FAX: 06-6419-1870（代表）

E-mail: 1988ryuichi@gmail.com